【会話形式による問題】（難易度：易）

下の文は世界史の授業で「19 世紀の欧米文化の展開と市民文化の繁栄」について説明している様子を抜粋してまとめたものです。あなた自身がこの授業に参加している生徒だと思って、文中の［ 1 ］～［ 10 ］に適する語句を考えて、答えなさい。

先生　今日は 19 世紀の欧米文化の展開と市民文化の繁栄について勉強したいと思います。ヨーロッパの国民文化は 19 世紀末にはヨーロッパ近代文明にまとまっていきます。そして、欧米列強の帝国主義による世界の一体化の進行とともにヨーロッパ近代文明は近代世界の基準とされていきました。ここからヨーロッパ中心主義的な世界観が生まれ、現代世界に様々な問題をおこしていきます。現在につながっていく様子を文化を通して考えていきたいと思います。

生徒Ａ　何だか、先生の説明を聞いているとなぜ、今のアメリカと EU という欧米世界と、中国・ロシアなどの BRICS が対立し、欧米先進国主導の国際秩序に対抗する動きが生まれたのかがわかるような気がします。

先生　そうですね。欧米文明世界が今でも世界基準になっていることへの異議があるのでしょうね。

先生　それでは本題に入りましょう。いきなりですが、1814 年から 15 年にかけてフランス革命・ナポレオンの大陸支配後のヨーロッパの国際秩序再建のため開かれた国際会議は何でしたっけ。

生徒Ｂ　［ 1 ］会議です。

先生　そうですね。この会議で成立した国際秩序は、列強が勢力均衡のもとで国際秩序の維持を図る仕組みで、1815 年に［ 2 ］が結ばれました。1818 年には、［ 3 ］の加入も認められ、反動列強体制のシステムが構築されました。そしてイギリスとロシアがこの体制の中心となりました。

先生　その結果、ほぼ 1 世紀の間、ヨーロッパ中心部では比較的平和で安定した国際環境が維持され、先進地域での近代化と市民社会の発展が進んでいきました。

先生　この体制時代に主流となった文芸思潮がロマン主義でした。ロマン主義は音楽・文学・芸術などの分野に大きな影響を及ぼし、国民文学や国民音楽に結実して国民文化の形成を推進しました。

生徒Ｂ　先生、市民文化と国民文化は何が違うのですか。

先生　いい所に気が付きましたね。都市の市民を担い手とする文化が市民文化で、学校教育や国語、国旗・国歌、さらに美術館、芸術活動などを通して民族としての自覚を与え、国民というものを創り出し、国民が担う文化を総称して国民文化と言うようになったのです。

生徒Ｃ　何かよくわからないけど、国民という言葉はイメージみたいなものなのかあ。

先生　ドイツでいうと［ 4 ］兄弟は、ゲルマン神話や民話を収集して童話集を編集し、ドイツの国民意識の形成に貢献しました。また、『歌の本』で叙情詩人としての名声を確立したロマン派詩人の［ 5 ］は 1830 年フランスでおきた七月革命に共感してパリに移住しました。彼はドイツの政治的状況を批判し続け、ドイツの民主化運動に影響を与えました。また、彼の作品はヨーロッパ各国で翻訳されドイツの文学や文化を世界に紹介することになりました。

先生　フランスでは七月革命の結果、七月王政が成立しましたが、この時、即位したのがオルレアン家の［ 6 ］ですね。

生徒Ｃ　Ｄ、資料集の絵を見てみなよ。上半身裸の自由の女神っていうのがあるぞ。

生徒Ｄ　え、本当だ。いいね。これ。

生徒Ｂ　授業中でしょう。私語は禁止よ。

先生　まあ、いいかどうかわからないけど、この絵はフランスのロマン主義の画家［ 7 ］の代表作『民衆を導く自由の女神』ですね。七月革命を題材にした作品です。

生徒Ａ　先生、七月革命の影響を受けてポーランドで起きた独立運動がロシアに弾圧され、深い悲しみと怒りからピアノ練習曲『革命』を作曲した『ピアノの詩人』と呼ばれた人は誰でしたっけ。

先生　ショパンです。七月革命の影響が各地に広がった結果ですよね。ベルギーがオランダから独立

しました。しかし、フランスの七月王政は銀行家など一部の富裕層に富が集中し、多額の納税者だけに選挙権を認める政治が行われていました。1847 年から市民と労働者が改革宴会という名目で集会を始め、普通選挙の実現を要求しました。しかし、政府は改革宴会禁止令を打ち出しました。それに反発した中小市民や一般民衆による武装蜂起により、1848 年の臨時政府は共和政を宣言し、第二共和政が樹立されました。

生徒Ｂ　先生、このフランスの 1848 年におきた［ 8 ］革命は他のヨーロッパ各国にどのような影響を及ぼしたのですか。

生徒Ｃ　革命、革命ってフランス人は革命が好きだなあ。革命で人がたくさん死んでもいいのかな。僕はその時の時代に生きていないからよくわからないけれど。

先生　今ある民主主義や自由主義は簡単には生まれてはこなかったのです。たくさんの人々の犠牲のたまものと言えるのではないでしょうか。

先生　［8］革命はオーストリアやドイツに波及し、オーストリアではメッテルニヒの失脚、プロイセンでは自由主義的な政府が成立しました。また、オーストリア帝国内のハンガリーやベーメン、イタリアではナショナリズム運動が広がりました。このような自由主義的改革運動と独立・自治を求めるナショナリズムが高揚する状況はいわゆる『［ 9 ］の春』とよばれ、1848 年革命とも総称されています。

生徒Ａ　いわゆる［1］体制は崩壊しましたが、西欧諸国は国内の自由主義的改革が、東欧地域では民族運動による自治や独立が主要目的で相互の連携が少なかったとされていますが、どうしてこのようなことが起きてしまったのでしょうか。

先生　さすがですね。とても素晴らしい質問です。やはり、東西ヨーロッパの社会経済状況、政治体制、ナショナリズムの高まりの程度、そして革命の展開の仕方の違いによるものだと思います。

先生　文化的には、19 世紀半ばにフランスではロマン主義に対する反動として現実をありのままに描くことを主張した写実主義が文芸思潮として広まり、19 世紀後半には写実主義を継承するとともに科学的に社会や人間の抱える問題を分析し、表現しようとした［ 10 ］主義につながっていきます。ゾラやイプセンが有名ですね。音楽では［8］革命の影響を受けた民族運動の展開と相互に影響してスメタナを代表とする民族主義的な音楽を作曲した国民楽派が出現しますよね。スメタナはチェコ民族運動に積極的に参加しました。やはり、何か、東西ヨーロッパは方向性が違いますね。

先生　さて、そろそろ、今日はおわりです。次の授業では資本主義の発展による社会的不平等の激化という新しい時代の社会のあり方を考える思想や科学の展開、ドイツ統一やイタリア統一など国民国家形成の動きにより国家やそのあり方を強く意識した思想や学術の出現について学んでいきたいと思います。

解答

1	2	3
ウィーン会議	四国同盟	フランス
4	5	6
グリム兄弟	ハイネ	ルイ=フィリップ
7	8	9
ドラクロワ	二月革命	諸国民の春
１０		
自然主義		

各２×10　　20点